

平成16年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	95-1222
事業コード		事務事業名	病院職員給与等支給事業	
根拠法令等	給与条例、施行規則	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	職員の給与を
手 段	事務局給与担当職員の事務及び電算委託により
想定する成果	条例、規則に従い、正確、迅速に支給する。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
事業費	26,968,229円	21,939,814円	21,281,619円
延べ支給人員	5,304人	5,265人	5,268人
過払返納件数	8件	8件	8件

④成果指標

成果指標名	①	②
	給与支給職員1人当たり事業費	給与過払返納割合
成果指標の説明	担当職員人件費÷延支給人員	給与過払返納件数÷延支給人員

⑤事業の進捗状況（ 病院事業会計 ）（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	4,040円
	実績	5,084円	4,167円	—
成果指標 ②	計画	—	—	0.152%
	実績	0.151%	0.152%	—
事業費	事業費	0	0	0
	人件費	10,552	10,447	10,764
	(人数)	1.3	1.3	1.3
	合計	10,552	10,447	10,764
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	10,552	10,447	10,764

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	過払返納件数のほとんどは職員の届出忘れ、届出遅れによるものであり、正確な給与支給ができています。
経済効率性	3	3	今後一層のコスト削減に努めていく必要がある。
事務効率性	2	2	事務の軽減を目指し、事務全体の効率性および簡素化を図ることが必要である。
必要性	3	3	職員給与は義務的経費であり、その支給事務は欠くことのできない事務である。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	職員給与は義務的経費であり、給与支給事務事業の存否を論ずることはできない事業である。しかし、財政状況の厳しい中、人件費の抑制、コストの縮減、事務の合理化を積極的に進めていく必要がある。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> ○給与担当職員の週休日、休日勤務における勤務時間の割振り変更を徹底した。 ○給与担当職員の時間外勤務の削減に努めた。

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ○給与担当者間の協力体制
--

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	1224
事業コード		事務事業名	病院経理事業	
根拠法令等	地方公営企業法	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象(受益者)	公営企業である病院事業の会計経理を
手 段	迅速かつ正確に事務処理を行うことによって
想定する成果	適正で安定的な企業運営に資する。

③事業の概要

(枚)

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
収入書類枚数	929	942	950
支出書類枚数	8,292	8,215	8,400
計	9,221	9,157	9,350

④成果指標

成果指標名	①	②
一日当たり経理書類処理件数		
成果指標の説明	経理書類枚数/職員勤務日数	

⑤事業の進捗状況

(病院事業会計)

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	38.0枚
	実績	37.5枚	37.2枚	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績			—
事業費	事業費	94	94	94
	人件費	12,987	12,858	13,248
	(人数)	1.6	1.6	1.6
	合計	13,081	12,952	13,342
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	13,081	12,952	13,342

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	ほぼ目標どおり進捗している。
経済効率性	3	3	投入された予算に十分見合った成果をあげている。
事務効率性	3	3	病院全体の経理事務を少人数で処理している。
必要性	3	3	
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

<p>財務会計システムを更新し、事務処理時間の短縮を図るべき。</p>

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

<p>公営企業という特殊な会計事務の習得に時間を要する。</p>

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	1224
事業コード		事務事業名	医療用機器等管理事業	
根拠法令等	地方公営企業法	A(法令)	B 条例	C 規則 D その他 E なし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象(受益者)	患者のために
手 段	医療用機器等を良好な状態で維持管理することによって
想定する成果	的確な診断、かつ適切な治療を受けられるようになる。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
機器保守委託件数	15件	15件	15件
機器保守委託料	45,740千円	35,752千円	35,800千円
医業収益	6,967,892千円	6,857,404千円	6,962,243千円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	保守件数1件当たりに対する保守委託料	医業収益に対する機器保守委託料の割合
	機器保守委託料／機器保守委託件数	機器保守委託料／医業収益×100

⑤事業の進捗状況 (病院事業会計) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	2,387
	実績	3,049	2,384	—
成果指標 ②	計画	—	—	0.5%
	実績	0.7%	0.5%	—
事業費	事業費	104,143	74,389	74,800
	人件費	2,435	2,411	2,484
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	106,578	76,800	77,284
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	106,578	76,800	77,284

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	適切な治療に役立っている。
経済効率性	1	1	高価な医療機器のため、修理等にも多額な費用を要する。
事務効率性	2	1	
必要性	3	3	適切な治療を施すには不可欠である。
小計	8 /12 満点中	7 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	8 /15 満点中	7 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

開院時に購入した医療機器が更新時期を迎えている。

--

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	1224
事業コード		事務事業名	院内テナント行政財産使用許可、業務指導管理事業	
根拠法令等	地方公営企業法	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	患者及びその家族などのために
手 段	院内に売店、喫茶室及びレストランなどのテナントを入れて
想定する成果	日常生活に近い環境の中で医療サービスの提供を受けられるようになる。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
テナント数	7	7	7
病院施設使用料	26,412千円	28,117	28,800千円
医業収益	6,967,892千円	6,857,404	6,962,243千円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	テナント1件当たりに対する病院施設使用料	医業収益に対する病院施設使用料の割合
成果指標の説明	病院施設使用料／テナント数	病院施設使用料／医業収益×100

⑤事業の進捗状況（ 病院事業会計 ）（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	4,114
	実績	3,773	4,017	—
成果指標 ②	計画	—	—	0.4%
	実績	0.4%	0.4%	—
事業費	事業費	0	0	0
	人件費	2,435	2,411	2,484
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	2,435	2,411	2,484
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,435	2,411	2,484

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	患者等の利便性を図っている。
経済効率性	3	2	医業外収益として計上している。前年度に比べ収益が増加している。
事務効率性	3	3	投入された人員に十分見合った成果をあげている。
必要性	3	3	収益の確保には必要。
小計	12 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	12 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	(テナント内訳) レストラン（メキユー）、売店（シダックス）、花屋（花木土）、喫茶店（竹内）、理容店（渡辺）、自動販売機（社会福祉協議会）、病室床頭台等（トヨペンディング）
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

営業時間の変更やレストラン等の客のニーズにあった商品の提供

⑧今後改善すべき点

テナントは開院以来入居しており、既存テナントの見直しの検討や職種の検討も必要。

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	1224
事業コード		事務事業名	委託事務契約、業者指導管理事業	
根拠法令等	地方公営企業法		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	患者のために
手 段	院内清掃、常駐警備などの業務について、専門的知識を有する業者に委託することによって
想定する成果	安全で安心かつ効率的に、医療サービスの提供を受けられるようになる。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
業務委託件数	18件	18件	18件
業務委託料	118,275千円	116,217千円	116,220千円
医業収益	6,967,892千円	6,857,404千円	6,962,243千円

④成果指標

成果指標名	①	②
	委託1件当たりの業務委託料	医業収益に対する業務委託料の割合
成果指標の説明	業務委託料／委託件数	業務委託料／医業収益×100

⑤事業の進捗状況（ 病院事業会計 ）（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	6,457
	実績	6,571	6,457	—
成果指標 ②	計画	—	—	1.7%
	実績	1.7%	1.7%	—
事業費	事業費	118,275	116,217	116,220
	人件費	4,059	4,018	4,140
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	122,334	120,235	120,360
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	122,334	120,235	120,360

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	良好に管理されている。
経済効率性	3	3	予算に見合う成果はあがっている。
事務効率性	3	3	委託件数が多く、毎月の事務処理に時間を要する。
必要性	3	3	経費の節減には必要である。
小計	12 /12 満点中	12 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	12 /15 満点中	12 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	(主な委託業務) 院内清掃等委託、夜間等警備委託、特殊検査等委託、白衣等洗濯業務委託
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

委託可能な業務については、すべて委託してきている。

⑧今後改善すべき点

更なる経費節減を図るためには、委託業務の見直しを行う必要がある。

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	1227
事業コード		事務事業名	病院建物等維持管理事業	
根拠法令等	地方公営企業法		A法令	B条例 C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	患者及び市民のために
手 段	病院建物等を適正かつ円滑に維持管理して
想定する成果	経済的で快適な環境の中で医療サービスを提供できる

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
維持管理委託料(千円)	199,500	199,500	198,660
維持管理内容	建築設備等の運転管理及び空調・給排水設備、消防設備・昇降機・搬送機・医療ガス・LPG設備・医療用水製造設備・厨房設備・通信情報設備・電気設備・ボイラ-圧力容器他の保守点検並びに各種環境測定業務		

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	業務に支障が生じる重大故障発生件数 施設維持管理の不備による原因で医療を中断させないこと	事業費の伸び率 各年度の事業費／平成15年度事業費×100(%)

⑤事業の進捗状況（病院事業会計）（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標①	計画	—	—	—
	実績	0件	0件	—
成果指標②	計画	—	—	99.8%
	実績	100.0%	100.0%	—
事業費	事業費	199,500	199,500	198,660
	人件費	1,623	1,607	1,656
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	201,123	201,107	200,316
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	201,123	201,107	200,316

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	重大事故が無く来院者に迷惑を掛けず1年間経過できたこと。
経済効率性	2	2	省エネ対策として空調機器の管理をしエネルギーコストを抑えている。
事務効率性	2	2	施設・設備は一括委託で業務対応しやすいが、全体の把握がおろそかになる点で難がある。
必要性	3	3	適切な環境保持が必要である。
小計	10 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	2	—	間接的参加であるが来院者の意見を取り入れている。
合計	12 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	経費削減に繋がるよう総合的な維持管理手法を検討すること。
------	---	---	------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

経費節減からエネルギー使用の見直しをしており、コジェネ施設の使用時間の調整が総合エネルギー使用料金に影響するため、施設の管理上無理にならない範囲でコジェネ施設の使用時間を調整している。

⑧今後改善すべき点

現在一括委託をしているが、経費削減を考えるならば分離発注を取り入れたほうが効果がある。委託内容はかなり広範囲に及んでいるため、中には受託者は単なる窓口的な業務のものもある。一般的に下請負に出せば経費が掛かるため直接発注が好ましい。また委託内容の把握も直接発注のほうが一括発注より把握しやすく適切な指導も出来る。したがって分離発注可能なものは次年度から実施すべきと考える。

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	1227
事業コード		事務事業名	院内空調、給排水、ボイラー、電気設備維持補修事業	
根拠法令等	地方公営企業法		A法令	B条例 C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	患者及び市民のために
手 段	院内各種設備を適正かつ円滑に維持補修して
想定する成果	適切な環境の中で医療サービスを提供できる

③事業の概要

(千円)

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
修繕費	20,849	25,953	45,000
内設備	13,063	21,051	39,000
内建物	7,786	4,902	6,000

④成果指標

①

②

成果指標名	施設・設備の修理依頼件数(委託業者へ)	事業経費伸び率
成果指標の説明	利用者(来院者・関係者)からの修理要望件数が少ないことが適正な管理とみなされる	各年度の事業費/平成15年度相当額×100(%)

⑤事業の進捗状況

(病院事業会計)

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	2,700件
	実績	2,621件	2,903件	-
成果指標 ②	計画	-	-	216 (%)
	実績	100 (%)	125 (%)	-
事業費	事業費	20,849	25,953	45,000
	人件費	3,247	3,214	3,312
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	24,096	29,167	48,312
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	24,096	29,167	48,312

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	修繕対応で設備に問題なく1年間推移できた。
経済効率性	2	2	病院という特殊柄修繕業者が固定してしまい、経費が適切かどうか判断しにくい面がある。
事務効率性	2	2	対象が広範囲のため発注者として全体像が把握しづらい。
必要性	3	3	現状維持を図るため必要である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	来院者の苦情．要望受け応対している
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	設置機器は全般的に経年劣化してきており今後は経費的に負担がかかっていくが、この契機に改修内容は合理的・経済的なものに変えていく必要がある。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

空調管理において、病室・レストラン等の中間期の温湿度調整が出来ないため苦情が多く対策が必要。

⑨平成18年度予算に反映する項目

設置後9年が経過し設備的には修繕改修の大きな時期にあり、機能維持及び使用勝手の悪い箇所の改修のためにも予算措置が必要となる。使用できなくなるまで使うという手もあるが、病院という特殊上かなりのリスクを負うことになるため予防保全の考えで対応することが求められる。

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	1227
事業コード		事務事業名	病院防災訓練、啓発事業	
根拠法令等	消防法他	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	患者及び市民のために
手 段	病院職員が病院内で防災訓練を行い、意識啓発することによって
想定する成果	災害時に、患者の安全を確保し一定の医療サービスを提供する。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
訓練種類	基礎災害訓練 1回	基礎災害訓練 1回	基礎災害訓練 1回
	地震訓練 1回	地震訓練 1回	地震訓練 1回
	火災訓練 1回	火災訓練 1回	火災訓練 1回

④成果指標

成果指標名	①	②
訓練回数		訓練参加率
成果指標の説明	経験の積重ねが適切な対応につながるため	参加人員(延べ) / 職員数 × 100 (%)

⑤事業の進捗状況 (病院事業会計) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画			3回
	実績	3回	3回	
成果指標 ②	計画			約40%
	実績	約40%	約40%	
事業費	事業費	0	0	0
	人件費	1,623	1,607	1,656
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,623	1,607	1,656
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,623	1,607	1,656

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	地震対応マニュアルが策定でき、また計画の訓練が実施できた。
経済効率性	2	3	直接的に費用効果が得られるものでなく、災害時・緊急時に病院としての機能（物的・人的）が保障されることが求められるもので、そのための投資と考えるべきである。
事務効率性	2	2	時間の制約上、年3回の訓練であるので適正な内容を実施していくことが必要。
必要性	3	3	消防計画に定められた事業内容。
小計	10 /12 満点中	11 /12 満点中	
市民参加度	2	2	来院者・入院患者に対しての訓練になっているため。
合計	12 /15 満点中	13 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	A	防災訓練は特定訓練（年度計画の3回）のみでよいものか判断できない。実施はしていないが各部署・部門別のミニ訓練を取り入れることも良い。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

平成16年度に当病院としての独自の地震対応マニュアルを定め17年度初期に各職場に配布し周知した。

⑧今後改善すべき点

災害に対する備えの元となる消防計画及び地震対応マニュアルをいかに個々職員が自分のものとし、常に危機意識を持つことが必要となる。また訓練教育を実施していく中で消防計画及び地震対応マニュアルの見直しも行うことが大切となる。訓練参加率は延べで40%であるが、全員参加の点で問題を残しているため多くの参加が出来る方法が求められる。

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載